

## 日本 NPO 学会 2022 年度定時総会 議事録

### 開催概要

日時：2022 年 6 月 10 日（金）19:00～20:30

場所：日本 NPO 学会事務局

〒770-8502 徳島県徳島市南常三島町 1-1 徳島大学総合科学部公共政策学研究室

開催方法：上記の事務局を拠点に、WEB 会議ツール「Zoom」(<https://zoom.us/>)を利用した開催

出席会員数：42 名

### 議案・配布資料

- ・別添の議事次第および配布資料を参照（いずれも電子データでの配布）

#### 1. 総会の成立、進行、出席者の確認

##### (1) 総会の成立の確認

会則第 12 条の定めにより、総会が成立していることが確認された。

##### (2) 議長

会則第 13 条の定めにより、石田祐会長が議長を務めることが確認された。

##### (3) 議事録署名人の選出

会則第 15 条に基づき、岡田彩会員、菅野拓会員が議事録署名人として選出された。

#### 2. 審議事項の経過と結果

##### (1) 第 1 号議案：2021 年度事業報告案について

石田会長より、2021 年度事業報告が行われた（第 1 号議案資料）。事業報告として、第 23 回研究大会の開催及び第 24 回年次大会の準備・運営、セミナーの開催、学会誌第 20 巻第 2 号及び第 21 巻 1・2 号の発行、若手研究者の国際学会参加支援助成金事業の実施、日本 NPO 学会賞の選定と授与、広報、総会・理事会・委員会の開催および活動報告、会員動向報告、財務管理、などについての説明が行われた。

### 質疑等

なし

### 承認事項

審議の結果、第 1 号議案は原案どおり承認された。

## **(2) 第 2 号議案：2021 年度決算報告案について**

石田会長より、2021 年度決算報告が行われた（第 2 号議案資料）。前年比で会費受取額が減少したこと、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により会議費や旅費の支出が大幅に抑制されたこと、学会事務局職員の雇用がなく人件費の計上がなかったこと、次期繰越正味財産額が 1200 万円を超えたこと、などについて説明が行われた。

また、上原優子監事より、2021 年度監査報告について説明が行われた（第 2 号議案参考資料）。

### **質疑等**

なし

### **承認事項**

審議の結果、第 2 号議案は原案どおり承認された。

## **(3) 第 3 号議案：第 12 期理事の選任について**

石田会長より、第 12 期理事の選任について提案があった（第 3 号議案資料）。理事選挙細則に基づき選挙管理委員会が設置されたこと、2022 年 4 月から 5 月にかけて理事候補者選挙が実施されたこと、そして、選挙管理委員会より 25 名の理事候補者名簿が提出されたこと、について説明がなされた。

### **質疑等**

なし

### **承認事項**

審議の結果、第 3 号議案は原案どおり承認された。

## **3. 報告事項の経過と結果**

### **(1) 2022 年度事業計画について**

石田会長より、2022 年度事業計画案について報告があった（報告 1 資料）。第 24 回研究大会の開催及び第 25 回研究大会の企画・準備、各種セミナーの開催、国際研究ネットワークとの交流・連携、学会誌の発行、対外的アドボカシー活動、研究倫理の検討、広報体制の整備、会員数の拡大、会費徴収の適正化、学会事務局体制の検討、会議やセミナーの対面開催の検討、などについて説明が行われた。

### **質疑等**

なし

## **(2) 2022 年度予算について**

石田会長より、2022 年度予算案について報告があった（報告 2-1 資料及び報告 2-2 資料）。予算案として 584 万円の経常収入及び経常費用を計上していること、学会誌を 1 回発行予定であること、セミナーの定期開催を継続すること、若手研究者の国際学会参加支援助成金を増額していること、会費納入率を向上させること、第 12 期理事候補者選挙の委託費を計上していること、などについて説明が行われた。

### **質疑等**

なし

## **(3) 理事候補者選挙の手続きに関する細則改正について**

三木組織運営委員会委員長より、理事候補者選挙の手続きに関する細則改正について報告が行われた（報告 3 資料）。コロナ禍のような緊急時におけるオンラインでの選挙実施を可能とするため、緊急対応にかかる内容を新設したことについて説明があった。

### **質疑等**

なし

## **(4) 正副会長選任規程について**

三木組織運営委員会委員長より、正副会長選任規程改正について報告が行われた（報告 4 資料）。コロナ禍のような緊急時におけるオンラインでの選挙実施を可能とするため、緊急対応にかかる内容を新設したこと、また、副会長を選挙ではなく会長の指名に基づいて選定するよう修正したこと、について説明があった。

### **質疑等**

なし

## **(5) 事務局細則改正について**

小田切事務局長より、事務局細則改正について報告が行われた（報告 5 資料）。事務局の円滑な運営を目的に事務局次長を設置できるようにしたこと、また、学会の公印の使用について実態に合わせた修正を行ったこと、などについて説明があった。

### **質疑等**

なし

#### **(6) 経理規程改正について**

小田切事務局長より、経理規程改正について報告が行われた（報告 6 資料）。経理事務の外部委託に関して、より透明性の高い契約を行うための内容を新設したこと、また、学会の公印の使用について実態に合わせた修正を行ったこと、について説明があった。

#### **質疑等**

なし

#### **(7) ハラスメント対策関連の規程改正について**

三木組織運営委員会委員長より、ハラスメント対策関連の規程改正について報告が行われた（報告 7 資料）。従来のハラスメント規程に齟齬があり、それを修正する目的で委員会細則、倫理細則、ハラスメント対策実施規程、を改正したこと、ハラスメント対策は新たな特設委員会を設置するのではなく組織運営委員会が担うこと、などについて説明があった。

#### **質疑等**

なし

#### **(8) 学術研究委員会主催ウェビナーについて**

岡田学術研究委員会委員長より、学術研究委員会主催ウェビナー開催について報告があった（報告 8 資料）。ウェビナーとして、「新自由主義と市民社会を考える」（2021 年 8 月 23 日）、「休眠預金活用事業の現状と課題」（2021 年 9 月 3 日）、「学会賞受賞記念講演ウェビナー」（2021 年 10 月 8 日及び 11 月 20 日）、「NPO/NGO の授業を考える」（2022 年 3 月 22 日）、「第 23 回研究大会研究報告にむけた準備セミナー」（2021 年 5 月 22 日、23 日）、をそれぞれ開催したことについて説明が行われた。

#### **質疑等**

なし

#### **(9) 若手研究者への国際学会参加支援助成金について**

岡田学術研究委員会委員長より、若手研究者への国際学会参加支援助成金について報告があった（報告 9 資料）。若手研究者への国際学会参加を学会として後押しする目的であること、学会への参加費および英文校閲費が助成対象となったこと、2 名の会員に対して助成を行ったこと、について説明が行われた。

## 質疑等

なし

### (10) 第 24 回研究大会について

粉川大会運営委員会委員長より、第 24 回研究大会について報告があった（報告 10-1 及び 10-2 資料）。研究大会がオンラインで開催されること、今回は参加費を無料としたこと、また、第 25 回研究大会は京都産業大学を開催校として実施されること、などについて説明が行われた。

## 質疑等

なし

### (11) ノンプロフィット・レビューについて

桜井編集委員会委員長より、ノンプロフィット・レビューについて報告があった（報告 11 資料）。年度内にノンプロフィット・レビューの Vol.20/No. 2、及び Vol.21/Nos.1 & 2 を発行したこと、また、第 24 回研究大会の 2 日目に編集委員会企画としてランチタイムセッションを開催予定であること、などについて説明が行われた。

## 質疑等

なし

### (12) 第 20 回日本 NPO 学会賞受賞作品について

岡本学会賞選考委員会委員長より、第 20 回日本 NPO 学会賞の選考結果について報告があった（報告 12 資料）。計 6 点の応募があったこと、優秀賞として桜井政成（2021）『福祉 NPO・社会的企業の経済社会学－商業主義化の実証的検討－』及び“Yanagi, Itaru, Kobashi, Yohei, Pekkanen, Robert J., & Tsujinaka, Yutaka. (2021). Distinguishing Providing Public Services from Receiving Government Funding as Factors in Nonprofit Advocacy. *VOLUNTAS*. 32, 534-547.”が、選考委員会特別賞として金川幸司、後房雄、森裕亮、洪性旭編（2021）『協働と参加－コミュニティづくりのしくみと実践－』が選定されたことについて説明が行われた。

## 質疑等

なし

### (13) 第 12 期理事候補者選挙及び会長選挙における危機管理について

石田会長より、第 12 期理事候補者選挙及び会長選挙における危機管理について報告

があった（報告 13 資料）。コロナ禍であることを踏まえ、理事選挙をオンラインで実施する案を理事会で検討・決議し、それに基づき実施したこと、また、会長選挙も同様の理由でオンラインで実施する案を理事会で検討・決議し、それに基づき選挙を実施すること、について説明が行われた。

#### 質疑等

なし

以 上

議長

石 田 祐 印

---

議事録署名人

岡 田 彩 印

---

菅 野 拓 印

---